



創立55周年式典に参加を

来る8月18日(日曜)、ブラジル岩手県人会創立55周年式典を開催致します。式典には母県岩手から達増拓也県知事さん、佐々木博県議会議長さん、郷土芸能使節団、慶祝の皆さんをお迎えして行われます。

会員ご家族皆様に節目の55周年式典に揃ってご参加して頂きたくご案内申し上げます。招待状は別便で発送させていただきます。

式典は移住一世先輩者の減少や高齢化で、参加者の減少が見られますが、一世主導最後の祝典と思われしますので、母県からの慶祝団皆様との交流を主体とした、式典にしたいと計画しております。

当会は県人先輩皆様の、故郷岩手を思う同郷の方々の「思い」から生れ、今日まで「親睦を原点」として後世に受け継がれてまいりました。

今日でも、会員相互の「親睦の原点を尊重」して、母県とブラジルとの「相互の交流」、岩手の諸文化をこの地に伝えようとの思いで催しや事業を行っております。

岩手県人の移住は、1908年の笠戸丸移民から遅れる事10年、大正7年7月(1918年)に一関出身の小野寺美代治さん(写真)が当時の海外移住振興会社計画移民として単身渡伯。パラナ州のコーヒー農園に配耕されました。すなわち県人移住100周年は5年後の2018年に迎えます。



また、南部藩士の家系である杉村 濬駐ブラジル第三代公使は、笠戸丸移民前の1905年4月リオデジャネイロに着任。リオ、ミナス、サンパウロと3州を視察。日本移民導入案を外務省に報告した。翌年1906年5月笠戸丸移民を迎えることなく急逝。リオの有名墓地に眠っている。

県人会では移民導入の父として、その功績を讃え日伯の「絆」として公使の墓碑改修を計画。県人会創立50周年、移民100周年を記念して功績に相応しい墓碑になりました。

(写真、2008年6月達増県知事を迎えて新墓碑の除幕式)

nhkドラマ「あまちゃん」好評

震災復興を祈願



4月から始まったNHK朝のドラマ「あまちゃん」岩手県の久慈市沿岸部が舞台。若手の海女さんを育てて、町の活性化を計り「浜」や「地域」が活気づくと共に地域人間模様を描いた物語。



我々の故郷岩手県がドラマの舞台になる事によって、大震災で「傷」ついた県沿岸部の観光広報になり、多くの観光客が訪れ、被災地に活気と勇気やお金がまわり、町々の復興への意欲が湧いてくるものと期待しております。5月のゴールデンウィークには、100万人以上の観光客が岩手県を訪れたと報道されている。

被災地では、様々な困難と立ち向いながら復興へと徐々に、町づくりに向かっている。被災者の気持ちを思うと一時も早い復興を、遠いブラジルからふるさとへの思いを伝えたいと思う。

「どんど晴れ」以来、久々に、お国なまり岩手弁を聞いて年配の方々は、懐かしく感じていることと思う。

(写真 nhk あまちゃん、久慈市観光案内より)

復興の真実を伝えたい 陸前高田の佐々木さん

3月9日(土曜)午後2時より、日系6団体及び被災6県人会共催で「東日本大震災犠牲者三回忌追悼法要」「追悼式典」がサンパウロ日本文化福祉協会講堂で行われ、200名ほどが、犠牲者(行方不明を含む)は2万人超の冥福を祈った。

法要は、仏教連合会婦人部のコーラスではじまり、木田文協会長、園田県連会長が追悼の辞を述べた。法要の中で代表者や被災県人会が壇上で焼香。参加者、被爆者協会招聘の「高校生平和大使」や役員も焼香した。



追悼式典では、福島教輝総領事が日本国を代表として義援金や支援に対しお礼を述べた。

被災県を代表し永山福島県人会会長が法要のお礼を述べ、被災

県の高校生野坂(福島)佐々木さん(岩手)が被災体験や復興の遅れなど現状を訴え、皆さんの温かい支援に対し感謝の意を表した。



式典では、被災県福島の「高野桜さん」(写真)は、原発から15キロ地点に実家(南相馬)があったが仮設住宅で暮らし、家族も離れ離れで高野さんは山形県で生活しているという。未だ自宅に帰れない現状や、2年経っても毎日復興の不安に怯えながら生活していると訴えた。放射能の風評被害の中で、自分たちは元気で頑張っていることを伝えたいと語った。



岩手の「佐々木沙耶さん」(陸前高田、写真)は、自宅が津波で流され仮設住宅に住んでいる。大きな地震から30分ほどで、地鳴りと共に大津波が近くまで押し寄せ、ぎりぎり高台に避難した。家族は無事だったが長年住み慣れた家はなく、高校は隣の大船渡高に通っていたと云う。風評被害もあり被災地の復興は遅れていると実情を伝えた。

ブラジルの高校生や皆さんの温かい心に感謝し、今後も「私たちのことを忘れないで」と訴えた。佐々木さんは3月初旬高校を卒業し、東京の大学で社会学(メディア)を勉強し「真実」を伝えたいとのことでした。

平和大使と交流会

3月9日午後6時から、宮城県人会で「高校生平和大使」や、ブラジル被爆者平和協会の森田会長、役員との交流懇談会が約30名で開かれた。

長崎と広島の高校生は、大使の役目は核兵器の廃絶と平和な世界の実現を目指す。各国の高校生に働きかけて1万人署名活動をおこない、各国との交流を通してNPTや国連、国際機関に平和を訴えていると話した。

福島と岩手の高校生は、大震災の復興や現状を伝え、参加者の質問や提案に答えた。

交流会では食事をしながら、高校生を囲み和やかな懇談交流を計った。



「平和大使」岩手県人会を訪問

9日午後3回忌法要の後、宮城県での交流会までの時間に、平和大使の高校生4名と被爆者協会役員一行が当会を訪問した。

県人会は日本から遙か遠いブラジルで「ふるさと岩手」との交流や会員との親睦活動を行っている事を伝えた。

一行から「高校生1万人署名」に協力して欲しいとパンフレットが配られた。県人会からは活動ビデオや会報などの資料を提供し、一時の楽しい交流を行った。



2月5日 県連主催大震災被災者招聘事業要項を県へ発信
 9-12 建物玄関改装。8日からカーニバル始まる
 13 県の山田さんから助成金書類、被災地招聘事業について受信
 16 役員会開催、行事予定、55周年、募金など
 18 バイア州パヘイラスの菅原正芳夫妻に娘さん(次女)来館
 28 県連代表者会に会長出席。議題は日本まつり、東日本大震災犠牲者3年忌法要、高校生平和大使、戦後移住60周年、定期総会、県連センター改装など
 3月9日 文協で「東日本大震災犠牲者3回忌追悼法要」が行われ、のち宮城県人会で「高校生平和大使」と交流懇談
 16 役員会開催 会館整備、55周年式典募金、ピクニック等
 18 県の山田さんより、県職員で退職される南米訪問者(匿名)から寄付金の申込みについて受信
 21 岩崎 NY 県人会名誉会長より活動などのメール受信
 25 県国際課へ訪日する多田副会長家族の略歴を発信
 ★ 菊地義治援護協会会長へTv IBC 開発センター平松誠司氏ら、車椅子寄贈について文書を発送
 28 県連代表者会および定期総会に千田会長、多田副会長出席
 ☆ 県の山田さんからブラジルにおける日系人の活躍状況、日系人の首長、有名企業の社長、文化・スポーツで活躍している例についての問合せあり。調査して返信
 4月2日 大山美和国際交流協会より、海外県人会について電話インタビューあり
 5 東北ブロック青年部主催運動会の会合が当会でおこなわれる
 7 多田マウロ副会長一家4名で訪日に出発
 10 第三代駐伯公使杉村 濤氏の曾孫である、杉村延広大阪府立大学副学長よりブラジル政府派遣の博士課程留学生について問合せ

15 ibc 開発センターの平松氏より、秋本清・綾子夫妻から車椅子を5台寄贈したい意向を受信
 16 藤村光夫副会長の甥「藤村勝己さん」急逝のしらせあり
 17 故藤村勝己氏ご家族へ甲電送信
 ☆ 多田副会長一家達増員知を表敬
 23 スズノ日会から会長・副会長2名と民謡公演について懇談
 25 県連代表者会に千田会長出席。高橋信男氏に「賀詞」伝達
 28 イベウナの村松ガーデンのピクニックに60名が参加。イベウナの太鼓(RYUBU)と当会雷神太鼓と交流演奏会をおこなった
 5月4日 吉田恭子賛助会長より八幡平在の遠藤勇氏逝去と受信。県人会より甲電を送信
 5 東北ブロック青年部主催「第9回運動会」が市内の学校校庭でおこなわれ、約800人の参加があった
 6 多田副会長市役所に家屋税免除更新書類を提出
 7 小林誠人さん(北上出身)来館。ブラジルで日本語塾開設の準備に滞在しているとのこと
 9 吉田賛助会長より奥州市の山折昭磨さん逝去の報あり、喪主の睦子様にお悔みの電話を入れる
 11 役員会開催 わんこそば祭り、55周年、日本祭りなど
 16 日本まつりブース抽選会に野村なおみさん出席
 19 東北ブロック運動会慰労会が当会サロンで行われる
 23 県連代表者会に会長出席
 24 賛助会員丹野清人教授(神奈川県在)2年ぶりに来館
 26 第7回「わんこそばまつり」開催。大盛況
 30(休日)コロッケ作り大勢で作業。冷凍し日本祭りに備える

会費納入者名 (敬称略) 年額 R\$ 80.00

2月 阿部正司、阿部貴志アイレス、菊地義治、吉田光夫(矢中・新)、元粕エイジ、千田みやこ、橋本敏朗(賛)、石崎一善(賛)、和田司(賛)、松井定信(賛・新)、
 3月 及川武夫アルツール(故及川益夫氏子息)、襲田重雄、大志田寿、千葉キク、高橋啓一、猫塚司、久保和子、高橋宏二カーロス、小原アヤ、伊藤範夫(賛)、
 4月 菊池透、高橋凡児、日比克義(賛)、稗貫義友(賛)、上滝重雄(賛)、工藤五三郎、高橋凡児(2012-13)、及川君雄、
 5月 栃沢千秋、上村敬子、中村健三(賛2012)、平尾宏子、三部キエ(2012-13)、丹野清人(賛2012-13)、浅見マリア、
 6月 野村美津子、鈴木要人、鈴木秀人、鈴木豊喜、平野マリア、

寄付寄贈 (敬称略) 匿名(岩手県) R\$3,980、永井栄美子 R\$50.00、お茶菓子 来訪者多数。冷凍庫 昆野とし子、冷蔵庫 藤村ジョージ、松本トミ 5万円、藤村秋夫 2万円、
 図書寄贈 2月9冊、3月195冊、4月219冊、5月114冊、
 図書利用 2月688冊152名、3月645冊153名、4月767冊166名 5月 749冊 156名、
 ふるさと図書室蔵書総計 21,825冊6月5日現在
 来訪者 2月415名、3月402名、4月468名、5月446名
 1階ホール利用者数は含まれません。

海外県人高齢者賀詞受賞者



平成24年度海外県人高齢者賀詞が千田会長より伝達された。(75才の海外移住者に知事から贈られる)受賞した及川君雄さん(大東町出身、写真左)、田鎖満さん(和賀町藤根、中央)、高橋信男さん(平泉町出身、右)

逝去 太田義徳さん(行年78歳、宮古市出身、昭和33年コチア移民)は、2月18日亡くなられたと家族から連絡がありました。
 岡田菊雄さん(行年69歳、和賀町藤根出身、昭和42年技術移住)は、2月21日病気で急逝されました。田鎖満さんの甥。
 工藤 良さん(行年79歳、五三郎さんの奥さん)は、昨年9月15日に永眠されたこと工藤さん来所。
 会員3名の方のご冥福をご祈念申し上げます。

子供が喜んだ運動会

UNDOU KAI



5月5日(日)東北ブロック青年部主催「第9回運動会」が、好天に恵まれた市内のClegio Santa Amália校グラウンドで盛大におこなわれ、老若男女約800名が童心にかえり楽しい一日を過ごした。

今年は特に小さな子供さんの参加が多く、日本の文化「運動会」にたしなんで頂いたことに成果があったと思う。



23種目が出場人数により数回行われた競技もあり、賞品も多数のスポンサーが協力したようである。

運動会は年々充実し、子供の遊び場、バザーや食べもの売店など特設会場に設置されていた。

また来場者に福祉施設へと食物1kgをお願いし、皆さんの善意が「憩いの園」へ計500キロ以上と現金R\$2000,00が贈られた。



4月28日(日)イビウナ市の「Rancho Coiti」(村松ガーデン)へ、久々にピクニックを行い会員、地元関係者など約100名が青空の下で楽しんだ。



サンパウロを午前8時半大型バスと自動車2台で出発。途中「ヤクルトの野球場(写真)」に立ち寄った。球場は設備が立派で練習場を含め5面も

あり、前日からジュベニールの大会があり試合中であった。

次いで「生長の家」練成道場を視察。講堂では大勢が集まり講習会が開かれていた。係の日系人が同教の生立ちや設備の説明など案内頂いた。社や鳥居などあり日本の神社風景を思い出させた。



(生長の家の社で記念写真) Rancho Coitiへ12時過ぎついた。今回のピクニックは県人会太鼓とイビウナ太鼓の交流を計画していた。

早速地元の太鼓「RYUBU(ダイダイ色のハッピー)」が演奏を披露。いつも聞いている県人会太鼓とは



交流 ピクニック

曲目が違い新鮮さを感じた。次いで県人会太鼓「雷神(紫のハッピー)」が演



奏。このように太鼓の交流で様々な演目があり、お互い強出出来たことが良かったと思う。お昼は、地元で準備して頂いた「Shurrasco(ペーパー



キュ)やサラダ、おにぎりなどを頂き楽しく過ごした。

当日は岩手県知事からの「賀詞」伝達や、誕生会も行われた。

会場は、故・村松吉次郎第5代目会長さんの子息、弘一さん宅の隣接地にある。弘一さんは前イビウナ市長を務め、任期中汚職対策や福祉、財政面に力を注いだことを懐かしく話していた。

(賀詞伝達を受けた田鎖氏、中央)



(写真左が村松さん)

ただ 多田さん 73年ぶりの里帰り



左から母江江さん、父登さん、達増県知事、多田マウロ、息子の正樹君 知事表敬にて

4月8日、多田登さん(77歳、Pereira Barreto 在住)は、ブラジル移住以来73年ぶりに初めての里帰りに出発した。

多田さんは4歳で家族9人と共に1940年(昭和15年)4月アルゼンチン丸で渡伯。Noroste 線 Tiete 移住地に入植した(この地方は当時綿作や養蚕が盛んだったと云う)。

多田さんは里帰りを計画していたが病気で延期。妻江江さん(2世)との金婚式祝いに、長男である孝則マウロさん(県人会副会長)が、お父さんの里帰りを提案して初の訪日を果たした。

はじめに東京周辺、京都を観光。兵庫では出発点の神戸港や移住センター(現海外移住と文化の交流センター)を訪問。館長の案内で資料などの説明を受け当時を偲んだと云う。

ひろしま 広島では原爆記念公園や資料館を視察。お母さんの従兄妹とも会い親族の情報を確かめあった。

16日夕盛岡着、翌日朝は親戚の藤村勝己氏の訃報を知る。午後、吉田恭子賛助会長の案内で県国際課や達増県知事を表敬懇談し、国際交流協会も訪ねた。夕刻は岩手県人会賛助会による心温まる歓迎会に出席し、会員と情報交換を行った。

18日お父さんのふるさと遠野市宮守村に従兄妹を訪ねた。お父さんは記憶乏しい故郷の変貌に驚き新しい町を再認識。親族や県民と交流され、里帰りが出来た事を涙ぐんで喜んでた。

また一関や平泉周辺などを観光。お母さんは季節外れの舞散る「雪」に初めて接し子供みたいに小躍りして喜んだとのこと。

また、マウロさんは1985年度研修生としてお世話になった関係者と交流。また武藤千賀子さんの案内で盛岡近郊の温泉も楽しんだ。

「親孝行」マウロさんは数年前父親が病気になって医者も難しいと判断した時、毎週末のように70キロ離れた実家に帰り看病や元気づけにと世話していた。その願いが叶い全快。そして今度の里帰りの提案など、まさに「親孝行の鏡」として、私共もそ

の一端でも学ぶことが出来ればと思う。(写真 雪が残る八幡平から岩手山を望む多田さん家族)



大盛況 わんこそば祭り 新記録 106杯が出た



新記録の藤井さん

5月26日、コロニアの人々が待ちに待った「第7回わんこそばまつり」が11時から行われ、約300人の人出で賑い、3分間で106杯で新記録がでた。昨年は村上さんが98杯。

7回目とあってすっかりコロニアに定着。前評

判もあり10時過ぎからお客さんが詰めかけた。ゆっくり味わいたいお客さんに「ざるそば」に「餃子」を振舞った。勿論そばは食べ放題で、数人が3杯以上を食べたと喜んでい



た。(ビールも相当飲んだとのこと)

競技は4人で競い1回目は青年で藤井さんが食べたののコツを学んだようで、いきなり「新記録106杯を樹立」昨年より体力もある俺がと頑張ったが76杯。2回は女性で白藤さん56杯。3回青年で青山さんが78杯。



人人で会場は超満員

4回目は2才から10才の子供で宇都宮君が27杯、2歳の花子ちゃんがお母さん付添で3杯。5回は70才以上で鈴木さんが46杯。6回は女子青年で27杯。7・8回は無差別でPedroさんが80杯、ケンジさんが51杯。8回競技を行ったのも「新記録」。全出場者に「記録証書と賞品」が千田会長から贈られた。因みに競技に使った「お椀」の数は1319個でした。

「わんこそば」は何と言っても「味」と「競技」で、味わって食べている人も「箸」の手を休めて競技に見入っていた。ある常連さんは「年忘れわんこそば」をやってはとアイデアを頂いた。最後に、前日当日とお手伝いを頂いた皆さん「お疲れさま！」



お母さんと一緒に 花子ちゃん2才

† 藤村勝己さん急逝

4月16日夜、(日本時間17日05:55時)
 当会の藤村光夫副会長さんの甥である、藤村勝己さん(盛岡在、ブラジル県人会賛助会副会長)が行年61歳の若さで急逝された。



2008年の県人会50周年に出席されたのち、病気が発覚し手術後順調に回復。昨年9月千田夫婦訪岩の折には、静養中にも関わらず色々とお世話のご案内を頂いた。

12月、病気が再発し療養中であったが、天寿を全うされたとし知らせが入り、あまりの若さでの昇天で惜しい人でした。折から多田マウロ副会長家族が訪日中で、16日午後盛岡入りした翌日亡くなり、お通夜、火葬と義父である光夫さんや県人会の代理が出来た多田さんの報告。

藤村氏は事業家であり交際の広い方で、多くの公職者や各界の代表、友人など多数の弔電が寄せられていた。

改めて故人のご冥福を心からご祈念申しあげ、ご家族ご親戚皆様の、ご心痛をお察し申し上げ追悼とさせていただきます。

(写真、リオの杉村公使新墓碑披露参拝で、右から藤村勝己さん、渡辺幸貫県議会議長、高橋由一金ヶ崎町長、達増拓也県知事、叔父の秋夫さん、叔母の松本トミさん)



みづか 自らが楽しみ、なおかつ人様を楽しませることに喜びを感じていた夫でした



(喪主 妻 藤村とも子さんの会葬御礼より)
 うらかな好季節を迎えた平成25年4月17日、夫・藤村勝己はやすらかに永遠の眠りにつきました。61年の幸せな生涯でした。

岩手大学農学部畜産課出身の夫は、岩手県経済連へ入社し、若い頃は養豚業に携わっておりました。その頃の夫が「大好きな豚と一緒にいられるこの仕事は天職だ」と、嬉しそうに話していたのを、今でも覚えています。

その後、経済連を退職した夫は一念発起し、社会福祉法人を立ち上げ、様々な社会福祉活動を精力的に行いました。晩年は学童クラブの館長として、たくさんの子供たちと接し、子供たちからも寄せ書きを頂くなど大変慕われておりました。

自らが進んで仲間を集めては、趣味のゴルフやカラオケを楽しむのでいた夫。知人からも、明るくてひょうきんな者という印象を持たれていたようです。とにかく「明るく楽しくがモットー」で、人を楽しませることが好きな得意なひとでした。

今年の6月には待望の「初孫」が誕生するのを、何より楽しみにしていた夫。その初孫を抱くことも叶わぬまま旅立つことになってしまいました。



最後に「娘」から夫へ「元気な赤ちゃんを産むから、天国から見守ってね」という言葉を贈り、見送りたいと思います。

岩手相撲会の功労者

遠藤勇さん急逝



岩手相撲界の後進育成や生き字引として活躍された「遠藤勇」氏(行年87歳)が、静養先で5月2日急逝されました。

南米にも遠藤氏の教え子がいる事から、ブラジル・パラグアイでの相撲大会に「岩手相撲団」を派遣し交流も計るなど、数回ブラジルも訪つれ当会の賛助会員にも入会されている。

昨年9月会長夫妻の歓迎会に出席され、私共も静養中の施設を訪れ、岩手相撲協会の歴史を勉強させて頂いた。

山折昭磨さんも

亡くなる



奥州市水沢の山折昭磨さん(79才)は、5月7日入院加療中のところ脳梗塞で亡くなられました。

氏は30年以上前、仏教の布教活動をされていた。10年ほど前に本願寺世界大会で来伯され、アマゾン地方を旅行されたと便りもあった。

当会45周年式典にも参加され、当会の賛助会員にも入会された。 当時は岩手県幼稚園連合会の理事長や、幼稚園を経営、お寺の住職でもあった。

故・遠藤さん、山折さんのご冥福をご祈念申し上げます。

2月18日 菅原正芳さん(73歳・東磐井郡川崎村出身)が数年振りに来館された。菅原さんは1961年コチア青年として、パラナ州カストロのジャガイモ生産農家に入植。1986年コチア産業組合の呼びかけで青年団地(オーロベルデ、バイア州西部)で自立を計るが、2年後にはコチア組合から貸付金の返済を迫られ、400haの畑を取り上げられた。その後、借地で大豆作りに励み、豊作時に畑を買

菅原さんバイア州で大豆栽培に励む



い足し、現在800ha(以前の資料から)の農地で大豆作りにがんばっている。週末はbarreirasの妻の元に息子さんと帰る。

同時期に入植したコチア青年の多くは同地を撤退。菅原さん一家だけがコチア青年の理想を達成した模様。大豆環状道路が出来たので地価が跳ね上がっていると云う。



岩手県人会創立 55 周年記念式典慶祝ご一行名

(敬称略、5 月末までのリストによる)

県知事ご一行 様 () は出身地

達増拓也県知事(盛岡市)、佐々木博県議会議長(盛岡市)、佐々木順子議長夫人(栃木市)、中村一郎政策地域部長(盛岡市旧玉山村)、小國大作知事秘書(大槌町)、中川友治議長秘書(奥州市旧胆沢町)、山田麻紀 NPO・文化国際課主任主査(盛岡市)、添乗員 1 名、

郷土芸能使節団ご一行 様

団長 藤沢清美 岩手民謡協会会長(尺八・盛岡)、副団長 曾利幸男 協会副会長(三味線・盛岡)、三上紀子 協会事務長(三

味線、踊り、盛岡)、三浦壽男(尺八、盛岡)、橋場昭喜治(唄、岩泉) 千葉栄人(唄・盛岡)、福田康平(唄・盛岡・昨年の民謡日本一に輝く、キングレコード歌手、最近 NHK 歌謡コンサートで活躍中)、山上衛(唄、踊り・秋田市)、館沢フミ子(唄、盛岡)、和賀八千代(踊り、北上市)、中川愛子(司会、踊り、雫石町)、武蔵みよ(唄、盛岡)、三上ゆかり(三味線、米国在)、

慶祝団ご一行 様

千葉政幸 金ヶ崎町副町長、伊藤雅章 金ヶ崎町議会議長、高橋邦廣(花巻市、高村記念館)、山澤順三(矢巾町、県相撲連盟審判)、八重樫正義(北上市、鬼剣舞指導)、松本トミ(山田町、賛助会副会長)、吉田恭子(盛岡市、賛助会会長)、久慈浩介(二戸市、「酒」南部美人 5 代目蔵元専務)、

県人会創立 55 周年特別寄付者芳名 (敬称略)

CONTRIBUIÇÃO DE 55 ANOS VALOR EM R\$

千田曠暁 Hiroaki Chida, 2000, 藤村光夫 Mitsuo Fujimura 1010, 千田輝海 Teruumi Chida 1000, 及川たけおアルツール Altur Takeo Oikawa 200, 奥田米仏門 Befumon Okuda 200, 橋本敏朗 Toshiro Hashimoto(賛) 200, 田鎖満 Mitsuru Takusari 1000, 安武俊毅(賛) Toshiki Yasutake 60, 児玉勲(賛) Isao Kodama 100, 和田司(賛) Tukasa Wada 300, 工藤五三郎 Gosaburo Kudo 1000, 浅見マリア Maria Assami 300, 石崎一義(賛) Kazuyoshi Ishizaki 100, 佐々木ジョゼルス Jose Luis Sasaki 100, 児玉勲(賛) Isamu Kodama 100, 田鎖満 Mitsuru Takusari 1000, 及川まゆみ Oikawa Mayumi 400, 佐々木久六 Kyuroku Sasaki 200, 亀ヶ沢アメリア Amelia Kamegasawa 500, 鈴木豊昭(賛) Toyoaki Suzuta 100, 中野光雄(賛) Mitsuo Nakano 200, 安武俊毅(賛) Toshiki Yasutake 60, 高橋好子 Yoshiko Takahashi 300, 石原吉美(賛) Yoshimi Takahashi 100, 高橋信男 Nobuo Takahashi 120, 小畑トモ子 Tomoko Obata 200, 及川君雄 Kimio Oikawa 500, 栃沢千秋 Chiaki Tochizawa 500, 高橋エイコ Eiko Takahashi 200, 菊池達郎 Tatsuro Kikuchi 1000, 巖岩 毅 Takeshi Horoiwa 200, 宮城義春(賛) Yoshiharu Miyagui 100, 三原寿樹(賛) Toshiki Mihara 200, 菊池義治 Yoshiharu Kikuchi 1000, 村松弘一 Kouiti Muramatsu 1200, 塚田良子 Yoshiko Tsukada 200, 梶原まさ子(賛) Masako Kajihawa 200, 武田栄一 Eiichi Takeda 300, 栃沢千秋 Chiaki Tochizawa 500, 及川秀義 Hideyoshi Oikawa 600, 切田正巳 Masami Kirita 200, 猫塚司 Mori Nekozuka 300, 大志田寿 Hisashi Ôshida 200, 千葉キク Kiku Chiba 200, 名原孝造 Kozo Nahara 200, 岡田信鷹ダニエル Daniel Nobutaka Okada 200, 元粕エイジ Eiji Motokashi 200, 中村修于(賛) Osao Nkamura 200, 佐々木寛一 Kanichi Sasaki 100, 山田山口エツコ Etsuko Yamaguti Yamada 200, 菅原正芳 Masayoshi Sugahara 600, 千葉和枝 Kazue Chiba 500, 千葉直義 Naoyoshi Chiba 500, 岩淵克明 Katsuaki Iwabuchi 200, 大原アヤ Aya Ôhara 200, 高橋宏ニカルロス Carlos Kouji Takahashi 400, 多田孝則マウロ Mauro Takanori Tada 1086.42, 稗貫義友(賛) Yoshitomo Hienuki 200, 阿部正司 Masashi Abe 500, 上村敬子 Keiko Kamimura 200, 野村美津子 Mitsuko Nomura 200, 鈴木秀人 Hideto Suzuki 800, 鈴木要人 Kaneto Suzuki 700, 久保和子 Kazuko Kubo 200, 和賀希耕 Kiko Waga 500, 清水宮路 Miyaji Shimizu 200, 高橋潔(賛) Kiyoshi Takahashi 200, 中村健三

(賛) Kenzo Nakamura 150,

※ 県人会創立 55 周年記念事業への「特別寄付」のお願いに対し心より感謝申し上げます。今回は会員はもとより、賛助会員の皆様にもお手伝いを頂きありがとうございます。

6 月初旬現在までの協力者名を掲載させていただきます。

6 月 9 日釜石市出身の「尾形良明」さんが来館。氏は定年退職し、世界を旅行中との事。先の大震災では自宅は被害なしだったが、大槌町の親族は津波で犠牲になったと。



が、大槌町の親族は津波で犠牲になったと。

彼は、旅の報告をブログ「徘徊老人放浪屋寝旅」で公開している。ご覧に成られては・・・

ブラジル岩手県人会役員名

(2013-2014) Diretori de 2013-2014

名誉会長 菊地 義治、

相談役 栃沢千秋、亀ヶ沢梅吉、佐々木憲輔、千葉直義、内海博、高橋凡児、大志田寿、菊池達郎、藤堂勝次、猫塚司、村松弘一、高橋宏ニカルロス、

会長 千田 曠暁、

副会長 多田孝則マウロ、田口精基、藤村光夫、

書記 千田輝海、及川秀義、

会計 昆野昭仁ワシントン、藤村光夫、

監査役 菊地透、児玉道義、野村なおみ、

監査補 川村益夫ネルソン、手嶋治ジョージ、巖岩毅、

理事 阿部正司、田口晃記、亀ヶ沢アメリア、峰紀代子ソフィア、山口忍セシリア、岩上ますみエリカ、渡辺正、平野マリア、

※ 大変遅くなりましたが、2013年度2014年度の県人会役員名を掲載させていただきました。何卒宜しくお願いします。

お詫び 今号はポルトガル語版は、多田副会長多忙のため日本語だけの発行となりました。悪しからず。

ブラジル岩手県人会ユニクス 182号 2013年6月発行

TEL/FAX (11) 3207-2383 www.iwate.org.br e-mail iwate@iwate.org.br

Rua Thomaz Gonzaga 95-M Liberdade São Paulo Brasil CEP 01506-020

ブラジル岩手県人会

Associação Cultural e Assistencial Iwate Kenjinkai do Brasil



岩手県人会のプログラム

「第16回日本まつり」 7月19日(金)20日(土)21日(日)が、例年通り「イミгранテ展示場」で開催されます。岩手県人会のブースは38番です。当会では「三陸わかめうどん」「コロッケ弁当」「ギョウザ」を出店します。お手伝いをおねがいします。

岩手県人会創立 55 周年関連日程

8月17日(土) 午後1時より「郷土芸能使節団」による特別公演が汎スザノ文化体育農事協会 (ACEAS NIKKEY) で行われる予定です。ご観賞下さい。

8月17日(土) 午後6時より「県人会 55 周年慶祝団」皆様をお迎えして「歓迎交流会」が、県人会館ホールで行われます。

8月18日(日) 午前10時から、電工会館 (Rua Thomaz Gonzaga 50 Liberdade SP) で「ブラジル岩手県人会創立55周年式典」を岩手県知事一行、郷土芸能使節団、慶祝団皆さんの参加を得て行われます。

